

第 1 回いなべ市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	平成18年7月27日 午後2時から いなべ市役所員弁庁舎 第7会議室
出席者	委員：7名（丸山康人、服部史郎、白井正年、松葉まち子、古農文雄、小林久里子、八田栄子）欠席1名（松井真理子）以上敬称略 市長、企画部長、行政改革本部員：10名 事務局：4名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員紹介（自己紹介） 5 事務局紹介 6 推進委員設置趣旨について <ol style="list-style-type: none"> ① 行政改革の必要 ② これまでの行政改革の取組について 7 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 会長選出 ② 会長あいさつ ③ 今後の進め方について 8 次回の会議について
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事項書 2. いなべ市行政改革推進委員会設置要綱 3. いなべ市行政改革の推進体制体系図 4. 行政改革の必要性 5. いなべ市行政改革集中改革プラン 6. いなべ市行政改革集中改革プラン17年度実績報告書 7. 広報誌「リンク」3月号「いなべ市の組織図」 8. いなべ市総合計画 9. いなべ市の財政状況
審議の概要	<p>7 審議事項（以下●印は会長、◎印は委員発言、○印は事務局発言）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会長選出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の互選により全会一致により丸山委員に決定した。 ② 会長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ● 国と地方の財政は一体化しており、国の財政状況が悪ければ地方自治体の状況も自ずと悪くなる仕組みとなっている。言い換えれば、地方の財政は国が握っている。そんな状況の中、地方は財政の健全化に努める必要が生じてきた。平成17年3月に国から示された指針では、17年度中に行革プランの作成と公表が義務づけられている。一般的には、行政改革の方向性・理念を示した大綱を策定して、その後行革プランを策定するが、いなべ市では、行政改革大綱が未策定であり、その策定が課題となっている。

本委員会では、行政改革大綱の策定について検討していくので、各委員からの意見を求めたい。

事務局としていつまでに大綱を策定するつもりか。

- 19年3月を目途としたい。
- 大綱を19年3月までに策定するとすれば、2か月に1度の委員会を開く必要がある。
- ◎ いなべ市として、将来どういった姿にしたいのか、どこに目標を置くのか数値を示してほしい。
- いなべ市の当面の目標値は、一般会計の決算規模を現在の180億円から類似団体の財政規模165億円を目標にしている。
- 行政改革はコスト削減だけではなく、現在行っている事業がどいった効果が上がっているか検証することも重要である。(カーブミラーの数を増やすことより、交通事故件数を減らすことが重要。)

行政が行わなければならないことと、本来住民がやるべきことを整理し直すことが重要である。そのためには、市民にも負担をかけることになるかもしれないが、結果的に市民の利益になることだと考え、市民と職員の意識改革をすることが必要である。

また、行政では福祉部門などもあり、効率化だけで議論することは危険である。

- ◎ 総合計画と行政改革の位置づけがわかりづらい。
- 総合計画を実現させるためには行政改革に取り組まなければならない。総合計画と行政改革は両輪である。
- ◎ 次回は行政がどういった業務に取り組んでいるか、また、どんな課題を抱えているのか、いなべ市の実態を示してほしい。
- ◎ いなべ市の歳入状況を含めた財政状況についても知っておきたい。
- 上記2件については、次回以降に資料を提示する。
- ◎ 行革プランに記載されていた、宇賀川の整備については、現在大型重機によって整備中であるが、子供の遊び場となっているため、なるべく自然のままで残してほしい。
- ◎ 市民にとって、国・県・市の役割がわかりづらく、特に県がどこまでの役割を果たすのかわからない。
- 現在、県の事業として宇賀川の整備を行っている。ある程度の整備を行わないと子供たちが遊べる空間としても利用できないので、ご理解をいただきたい。
- 次回以降にいなべ市の実態把握を行い、財政的な課題について検討したい。

③ 今後の進め方について

- 会議は非公開とし、会議録については無記名で会議概要を作成した上で市のホームページに掲載する。
- ◎ 了承する。

8 次回の会議について

- 8月中旬から9月までで日程調整を行う。